

## 監査委員として、感じたこと

監査委員に就任して、市の仕事を「全体」で見る立場になりました。

今回の監査で気になったのは、事務手続きの「基本」について（軽微な）指摘が散見されたことです。

お金を受け取る前の確認が抜けていたり、補助金の実績確認が形式的になっていたり、契約の順番が前後していたり、どれも一つ一つは軽微な事柄です。しかし、こうした小さな事柄が積み重なれば、市民の皆さんの税金を扱う行政としての信頼が揺るぎかねません。

だからこそ監査は、だれかを責めるのではなく、市役所を守るための点検作業だと、あらためて考えました。

派手な成果が見える仕事ではありませんが、市政の土台を支える役割として、丁寧に確認を続けていきます。



## 日常活動



中学校ダンスクラブの運営ボランティア



旭サナック・旭精機労組の皆さんと地域清掃ボランティア



地元市議の有志で政策検討会



地元運動会で消防団PR活動



国会議員とともに市長訪問



住民をつなぐ地域の大切なお祭り



市の新たな名所！



尾張旭市議会議員 市原誠二

いっち通信



HPにアクセス

No.32 2026.1

私たちの暮らしを  
私たちみんなで守る

発行：いちはら誠二を育てる会

事務所：晴丘町東 111  
TEL：0561-53-1448



中学校のダンスクラブ支援ボランティアの皆さんと（左手奥でダンスを練習中）

皆様のご健勝を  
ご祈念申し上げます

良いお年をお迎えのこと  
と存じます。

巳年から午年へ、『巳』現  
実となった取組みが、『午』  
さらに駆け抜け、飛躍する  
年回り。

より良い社会を子供た  
ち、孫たちに残すべく、幅広  
い視野と見識で、職責を果  
たします。ご支援ください。

## 市の仕事を丁寧に点検しました

### －監査委員として確認した、尾張旭市の事務－

監査委員として、市の仕事が、法律やルールに沿って、無理や無駄なく行われているかを確認するため、定例監査を実施しました。

この監査では、各課のお金の扱い方や事業の進め方について、書類の確認だけでなく、実際の状況も含めて点検を行いました。

#### 今回の監査では、2テーマについて重点的な確認を行いました

- ・収入の手続きが正しく行われているか
- ・郵便切手などの金券類が計画的に保管されているか

家計でいえば、  
「収入をきちんと確認したう  
えで家計簿に記入している  
か？」  
「使わない商品券や切手を、  
必要以上に貯めていない  
か？」  
といった点を確認しました。



### 複数の課で共通して見られた改善点

今回の監査では、いくつかの課に共通する事務上の課題が確認されました。

#### ① 収入に関する手続き

本来は、収入額を正式に決めてから手続きを進める必要があるところ、  
確認や決定のタイミングについて、より丁寧な対応が必要な事例が見られました。

#### ② 補助金・助成金の取り扱い

同じ目的の事業に対して、複数の制度が関係する場合の確認不足が一部で見受けられました。

#### ③ その他の事務手続き

契約や公表の手続き、切手類の管理などについても、確認の徹底や手続きの整理が必要な点を指摘しました。



# 予算案・条例改正などを 12 月議会で審議 年度予算 約332億円の使い道を抜粋し解説します



市民の最後の砦である自治体としての役割を果たすため、「決定プロセスや情報の開示、論理的な対応が重要である」との考えに基づき、私は職責を果たします。

## 1

### 物価高対策

#### ◎物価高対応子育て応援手当支給事業

事務費用 0→694 万円

手当部分 0→3 億円

国の物価高対策の補助金を活用した「子育て応援手当」。本年3月末までに生まれたゼロ歳児から高校3年生世代までの子ども一人につき2万円を支給。対象は約1万5千人。対象世帯に来年1月下旬から意志確認書を順次発送し、同2月下旬以降、児童手当受給口座に振り込む。事業費の全額は国からの補助金。

3月末までに生まれた新生児は、手続きの締め切りを4月中までに延長されます。



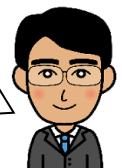
#### ◎食料品等物価高騰対策支援事業 5 億 2,000 万円

事務費用 0→1 億円

支援部分 0→4 億円

市民一人当たり5,000円分の給付事業。高額な事務費用の内訳は、ギフトカードの発行、郵送、コールセンターの委託費用等。ギフトカードの納入時期が不明であり、今年度の早い時期の配布を目指したい。

国は、3千円を目安にしているが、お米を5キロ買うのに不足するレベルのため5千円とした。しかし、今回の給付事業にかかる事務費は一億円と高額。国の指針と板挟みの市の担当者。悩ましい。



## 2

### 障害福祉・保育など

#### 地域福祉課

##### ◎障害福祉サービス事業

介護給付・訓練等給付費 15 億 5,400 万円→17 億 100 万円

想定を超えた利用者の増加で約1億5,000万円増額。

就労継続支援B型・生活介護・障害者グループホーム利用の伸びが大きい。

→「就労継続支援B型」。  
非雇用型の障害福祉サービス。  
一般雇用が困難な方に対して「就労の機会」と「生産活動の場」を提供。

→「生活介護」  
福祉施設通所型サービス。  
「日中における入浴・排泄・食事等の介護や創作的／生産的活動の提供」を通じ、生活能力支援を目的としている。

→「障害者グループホーム(共同生活援助)」。  
障害を持つ方が支援付きで共同生活を送るためのサービス。  
夜間・休日の家事・相談・身体介護等を含む。

増加は、他の自治体でも同様の傾向。



#### 保育課

##### ◎特定教育・保育実施事業

保育対策総合支援事業費補助金 510 万円→690 万円

増額の理由は、来年春開園の保育園2園のICT推進のための費用。

入退園システムやキャッシュレス決済導入費用を支援。

22園中17園で対応済み。

#### 市民課

##### ◎住民基本台帳事務事業

情報連携端末導入委託料 0→約40 万円

情報機器購入費 0→約31 万円

あらたに、在留カードのICチップに住居地を入力するための対応費用

#### 土木管理課

##### ◎交通安全施設維持管理事業

光熱水費 552 万円→652 万円

道路標識の照明代(電気料金)が増加したため。

## 3

### 産後ケアなど

#### こども家庭課

##### ◎母子保健指導事業

産後ケア業務委託料 150 万円→375 万円

見込みより多くの利用者があったため増額。

令和7年11月末現在、  
宿泊型51日、通所型57件、訪問型18件の利用。

産後ケアを利用する市民が増加した要因は、

- ① 母子手帳を渡す際に産後ケア事業のPR
- ② 産後ケアに対応した参加機関の増加

裏話 市民が産後ケア利用相談の際に「予算いっぱいなので控えてほしい」旨の発言が窓口であったと某施設から相談あり。  
すぐに担当課に確認。そのような事実はないことを確認し、必要に応じ予算を増額して対応する旨の回答をもらっていた。  
今回の増額は、産後ケア事業のPRがしつかりなされ、希望者全員が利用できる状況であることを改めて確認できた。



#### 人事課

時間外勤務手当が1,978万円の増加。

これまでの給与改定により市役所職員のベース賃金が上昇し、残業単価が上がったため。

なお、残業時間自体は昨年と同程度とのことでした。

